

# 1月の緊急救急当番医はつぎのとおりです（変更になる場合があります）

		江別市 診療時間は各病院へお問合せください。				岩見沢市内の緊急救急当番医について	
日	曜日	《内科系》		《小児科系》		《外科系》	
1	年始	林内科 朝日町3-26 ☎011-383-9816	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	※岩見沢市内の緊急救急当番医は ①岩見沢医師会のホームページ ②新篠津消防署 ☎0126-57-2034 ③新篠津村役場（当直）☎0126-57-2111 で直接ご確認ください。	
2	年始	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	あども家庭クリニック 野幌住吉町2-5-10 ☎011-385-2500	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
3	年始	大内クリニック 大内町31-1 ☎011-386-3366	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
9	土	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	救急安心センターさっぽろについて	
10	日	野幌病院 野幌町5-3 ☎011-382-3483	おおめまこ小児科 東野幌本町7-5 ☎011-385-6782	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	※急な病気やケガで、救急車を呼ぶか、医療機関を受診すべきか迷ったときは、救急安心センターへお電話をしてください。受付員や看護師が症状に応じて、119番への転送や医療機関の受診案内、応急手当などの助言を行います。（24時間365日利用できます）	
11	月	はまもと内科クリニック 上江別東町4-27 ☎011-788-7636	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111		
16	土	-	-	-	江別市立病院 若草町6 ☎011-382-5151		
17	日	江別市立病院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立病院 若草町6 ☎011-382-5151	-	江別市立病院 若草町6 ☎011-382-5151		
23	土	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
24	日	平賀内科クリニック 野幌東町2-6-26 ☎011-382-5989	とかし小児科 野幌松並町2-5-2 ☎011-385-0150	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
30	土	-	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111		
31	日	内科循環器科白樺通りクリニック 野幌若葉町4-0-11 ☎011-383-7111	おおあさ鈴木ファミリアクリニック 大森町3 ☎011-386-5303	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>#7119</b> 救急安心センターさっぽろ または 011-272-7119 <b>24時間365日対応</b></p> </div>	

## 「冬の地震災害に備える」

札幌管区気象台地震火山課 ☎011-611-6125

冬に地震が起きると、夏より被害が大きくなるといわれています。冬は積雪の影響で家屋などの倒壊が発生しやすいこと、路面状況や吹雪などにより避難所までの避難路の確保や移動に時間がかかること、暖房などの火の使用によって火災が発生しやすいこと、自宅や避難所、車の中などにおける寒さ対策が必要であることなどが考えられます。

今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて解説します。

### ①雪に対する備え

冬になると屋根には雪が積もっていますので、地震の揺れによる屋根からの落雪、雪の重みによる家の倒壊の危険性が高くなります。また、地震の揺れで雪が一気に落ちて避難路がふさがれることもありますので、日頃からのこまめな屋根の雪下ろしや、自宅周辺などで落雪の危険な箇所を確認しておきましょう。

### ②火災に対する備え

冬は、ストーブなど暖房器具を使用しているため、夏と比べて火災発生の危険性が高くなります。火事が起きたときに初期消火ができるように、日頃から家庭や地域、職場で消火活動の訓練をすることが大切です。

最近では、地震を検知して自動的にガスや灯油の供給を止める器具となっていますので、ご家庭の器具がきちんと動作するか、定期的に点検・確認しておきましょう。

### ③寒さ対策への備え

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられます。防寒着、毛布、使い捨てカイロを用意しておくことも大切です。避難が必要となった場合の道中やその後の避難生活でも必要となりますので、寒さ対策についても日頃から考えておきましょう。